

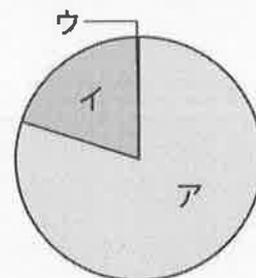
No. 1 燃焼の仕組み (1)	名前	組 番	/10問
------------------	----	-----	------

- 1 ろうそくが燃えた後について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。
- ろうそくが燃えた後に、石灰水で調べることができる気体は、(①) です。
 - ①の気体があるとき、石灰水は (②) 。

- 2 空気の成分(体積の割合)について、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 右のグラフの **ア** は、
[③ ちっ素・酸素・二酸化炭素など] です。
- 右のグラフの **イ** は、
[④ ちっ素・酸素・二酸化炭素など] です。
- 右のグラフの **ウ** は、
[⑤ ちっ素・酸素・二酸化炭素など] です。

空気の成分(体積の割合)

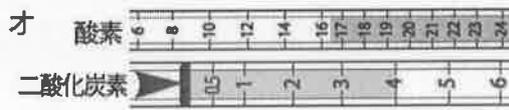


- 3 ろうそくが燃える前と燃えた後の空気について、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 空気中の酸素や二酸化炭素の体積の割合を調べる、右の図の◎の器具を、
[⑥ 気体検知管・ポンプ(気体採取器)] といいます。



- ろうそくを集気びんの中で燃やし、◎の器具を使って、燃える前と燃えた後の空気を調べました。



- 上の図の **エ** は、ろうそくが [⑦ 燃える前・燃えた後] の結果です。
 - 上の図の **オ** は、ろうそくが [⑧ 燃える前・燃えた後] の結果です。
- 3 ろうそくが燃えた後の集気びんの中では、ろうそくが燃える前と比べて [⑨ 二酸化炭素・酸素] の体積の割合が減り、 [⑩ 二酸化炭素・酸素] の体積の割合が増える。

ろうそくが燃える前と燃えた後の空気では、酸素と二酸化炭素の体積の割合が変わるよ。



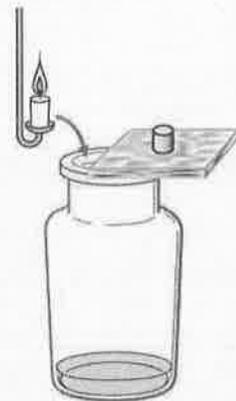
.....キリトリ.....

- 〈解答〉
- ① 二酸化炭素 ② 白くにごる
 - ③ ちっ素 ④ 酸素 ⑤ 二酸化炭素など
 - ⑥ 気体検知管 ⑦ 燃える前 ⑧ 燃えた後 ⑨ 酸素 ⑩ 二酸化炭素

No. 2 燃焼の仕組み (2)	名前	組 番	/10 問
------------------	----	-----	-------

1 ものの燃え方と空気について、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 1 空気中でろうそくに火をつけると、ろうそくは、
〔① 激しく燃える ・ おだやかに燃える ・ 火が消える 〕。
- 2 右の図のように、火のついたろうそくをちっ素の中に入れて、
〔② 激しく燃える ・ おだやかに燃える ・ 火が消える 〕。
- 3 右の図のように、火のついたろうそくを酸素の中に入れて、
〔③ 激しく燃える ・ おだやかに燃える ・ 火が消える 〕。
- 4 右の図のように、火のついたろうそくを二酸化炭素の中に入れて、
〔④ 激しく燃える ・ おだやかに燃える ・ 火が消える 〕。

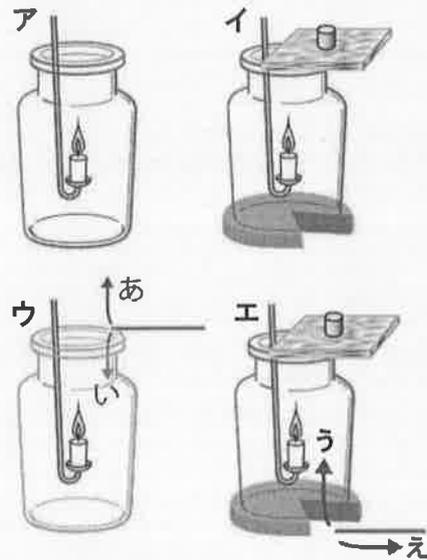


2 空気にくくまれる気体について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

- 1 空気にくくまれている気体の中で、ちっ素と二酸化炭素はものを燃やすはたらきが (⑤) 。
- 2 空気にくくまれている気体の中で、酸素はものを燃やすはたらきが (⑥) 。

3 集気びんの中でのものを燃やすときについて、下の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 1 右の図の**ア**、**イ**のように、火のついたろうそくを集気びんに入れました。
・右の図の**ア**のろうそくは、〔⑦ 燃え続ける ・ 火が消える 〕。
・右の図の**イ**のろうそくは、〔⑧ 燃え続ける ・ 火が消える 〕。
- 2 右の図の**ウ**、**エ**のように、火のついた線こうを近づけました。
・右の図の**ウ**の線こうのけむりが流れる向きは、
〔⑨ **あ** ・ **い** 〕です。
・右の図の**エ**の線こうのけむりが流れる向きは、
〔⑩ **う** ・ **え** 〕です。



空気にはものを燃やすはたらきのある気体がかくまれているんだね。

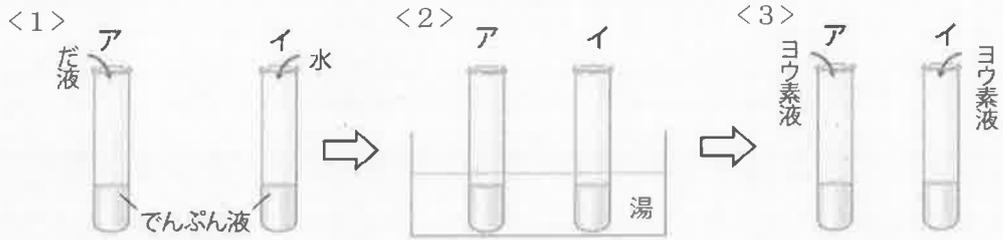


.....キリトリ.....

- (解答) 1 ① おだやかに燃える ② 火が消える ③ 激しく燃える ④ 火が消える
2 ⑤ ない ⑥ ある
3 ⑦ 燃え続ける ⑧ 燃え続ける ⑨ い ⑩ う

No. 3 人や動物の体のつくりと働き(1)	名前	組 番	/10問
------------------------	----	-----	------

1 だ液の働きについて、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。



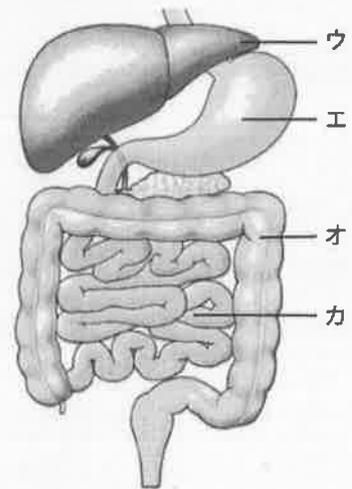
- 上の図の湯の温度は、〔① 約40 ・ 約80 〕℃です。
- 上の図で、<3>の**ア**にヨウ素液を入れると、色は〔② 変わらない ・ 青むらさき色に変わる 〕。
- 上の図で、<3>の**イ**にヨウ素液を入れると、色は〔③ 変わらない ・ 青むらさき色に変わる 〕。

2 食べたもののゆくえについて、次の() に当てはまる言葉を書きましょう。

- 食物が体の中に ^{きゅうしゅう}吸収されやすいかたちに変えられる働きを(④)
といいます。
- 口からこう門までの食物の通り道を(⑤) といいます。
- 胃や小腸のように体の中にあり、生きるために必要な働きをしているところを(⑥) といいます。

3 体の中の臓器について、次の() に当てはまる言葉を書きましょう。

- 右の図の**ウ**の臓器は、養分の一部をたくわえる働きがあり、(⑦) といいます。
- 右の図の**エ**の臓器は、(⑧) といいます。
- 右の図の**オ**の臓器は、主に水を吸収する働きがあり、(⑨) といいます。
- 右の図の**カ**の臓器は、養分を吸収する働きがあり、(⑩) といいます。



口から入った食物は、体の中に吸収されやすいかたちに変えられてから吸収されるね。

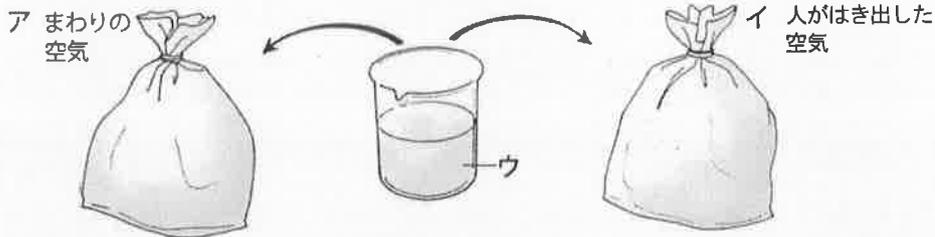


.....キリトリ.....

- (解答) 1 ① 約40 ② 変わらない ③ 青むらさき色に変わる
 2 ④ ^{しょうか}消化 ⑤ ^{しょうかかん}消化管 ⑥ ^{ぞうき}臓器
 3 ⑦ ^{ぞう}かん臓 ⑧ 胃 ⑨ ^{だいちょう}大腸 ⑩ 小腸

No. 4 人や動物の体のつくりと働き(2)	名前	組番 /10問
------------------------	----	---------

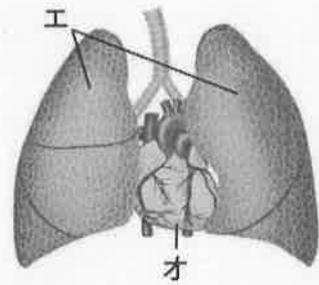
1 人がはき出した空気やその調べ方について、次の〔 〕のうち正しいものを○で囲みましょう。



- 上の図で、ア、イの空気のちがいを調べるウの液を〔① 石灰水・ヨウ素液〕といます。
- 上の図のアの空気にウの液を入れてふると、〔② 白くにごる・変わらない〕。
- 上の図のイの空気にウの液を入れてふると、〔③ 白くにごる・変わらない〕。
- 上の図のウの液の変化から、人がはきだした空気には、まわりの空気とくらべて、〔④ 酸素・二酸化炭素〕が多くふくまれていることがわかる。

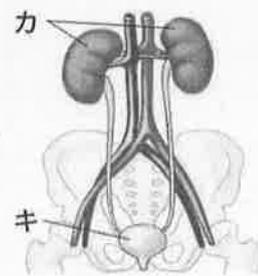
2 次の() に当てはまる言葉を書きましょう。

- 右の図のエの臓器は、(⑤) といいます。
- 酸素を体内に取り入れ、二酸化炭素を体外に出すことを(⑥) といいます。
- 体内に取り入れた酸素や、体外に出す二酸化炭素は、(⑦) によって体のすみずみに運ばれます。
- 右の図のオの臓器は、(⑧) といいます。



3 不要になったものはいしゅつについて、次の() に当てはまる言葉を書きましょう。

- 右の図の力の臓器は、血液から余分な水分や不要になったものをこし出す働きがあり、(⑨) といいます。
- 右の図のキの臓器は、しようが集められるところで、(⑩) といいます。



はき出した空気は、酸素と二酸化炭素の体積の割合が吸いこむ前の空気とは変わっているね。



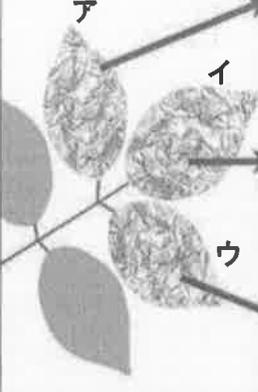
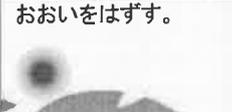
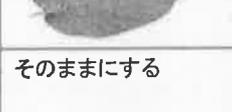
キリトリ

- 〈解答〉
- ① 石灰水 ② 変わらない ③ 白くにごる ④ 二酸化炭素
 - ⑤ 肺 ⑥ 呼吸 ⑦ 血液 ⑧ 心臓
 - ⑨ じん臓 ⑩ ぼうこう

No. 5 植物の養分と水の通り道 (1)	名前	組 番	/10問
-----------------------	----	-----	------

1 ジャガイモの葉の養分を調べた実験について、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

- この実験は、
〔① 晴れ・雨〕の日に
行います。
- 葉をアルミニウムはくで
おおうのは、葉に
〔② 日光・雨〕が
当たらないようにするため
です。

前日の午後	朝	4~5時間後
葉をアルミニウムはくでおおう。 	アの葉に養分があるかをヨウ素液で調べる。 	
	おおいをはずす。 	イの葉に養分があるかをヨウ素液で調べる。 
	そのままにする 	ウの葉に養分があるかをヨウ素液で調べる。 

- 右の図の**ア**、**イ**、**ウ**の葉をヨウ素液で調べると、右の図の**エ**または**オ**の色になります。
 - 右の図の**ア**の葉は、右の図の〔③ **エ**・**オ**〕の色になる。
 - 右の図の**イ**の葉は、右の図の〔④ **エ**・**オ**〕の色になる。
 - 右の図の**ウ**の葉は、右の図の〔⑤ **エ**・**オ**〕の色になる。
- 右の図の**ア**の葉に養分は、〔⑥ できている・できていない〕。
- 右の図の**イ**の葉に養分は、〔⑦ できている・できていない〕。
- 右の図の**ウ**の葉に養分は、〔⑧ できている・できていない〕。



2 ジャガイモの葉にできた養分について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。
ジャガイモの葉に (⑨) が当たると、 (⑩) という養分ができる。

植物の葉に養分ができるためには何が必要なのかな。

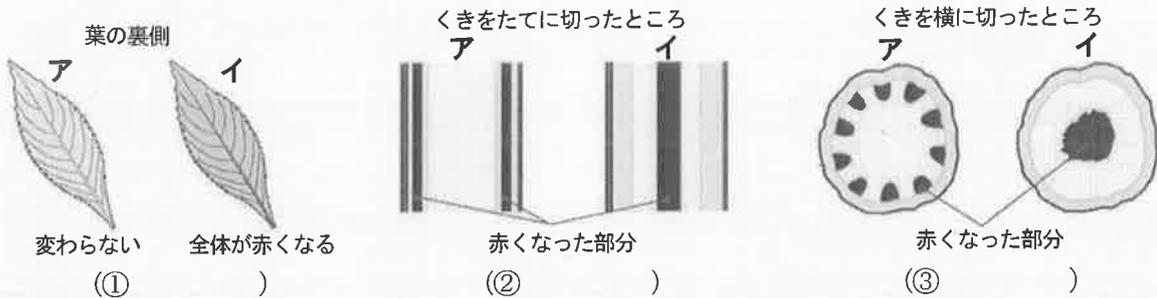


.....キリトリ.....

- (解答) 1 ① 晴れ ② 日光 ③ **オ** ④ **エ** ⑤ **オ** ⑥ できていない ⑦ できている
⑧ できていない
- 2 ⑨ 日光 ⑩ でんぷん

No. 6 植物の養分と水の通り道 (2)	名前	組 番 /10問
-----------------------	----	----------

1 赤い色水にさしておいたホウセンカの葉、くきの様子について正しいものを、次のア、イからそれぞれ選んで () に書きましょう。

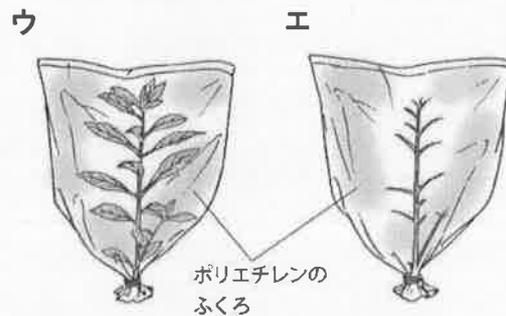


2 植物の中の水の通り道について、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

- 1 植物は (④) の部分から水を体に取り入れる。
- 2 ④から取り入れられた水は、(⑤) や (⑥) の中の細い管を通して、植物の体全体に運ばれる。

3 よく晴れた日に、同じような大きさの植物を使って実験をしました。次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

- 1 2時間後、右の図のウはふくろの内側は (⑦)、右の図のエのふくろの内側はあまり変化がなかった。
- 2 植物の体の中の水は、主に (⑧) の部分から (⑨) となって出ていきます。このことを (⑩) といいます。



植物の中で水の通り道になる細い管は、植物の体のすみずみまでいきわたっているね。



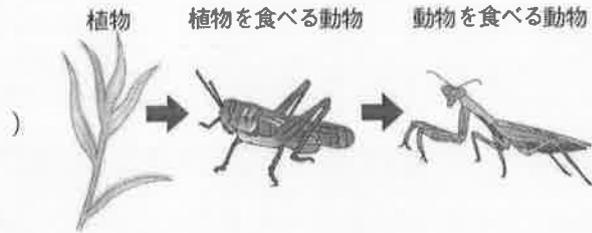
キリトリ

- (解答) 1 ① イ ② ア ③ ア
 2 ④ 根 ⑤ くき ⑥ 葉 (⑤⑥の順番は問いません)
 3 ⑦ くもり ⑧ 葉 ⑨ 水蒸気 ⑩ 蒸散

No. 7 生物と環境 (1)	名前	組 番	/10問
-----------------	----	-----	------

1 生物どうしの関わりについて、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

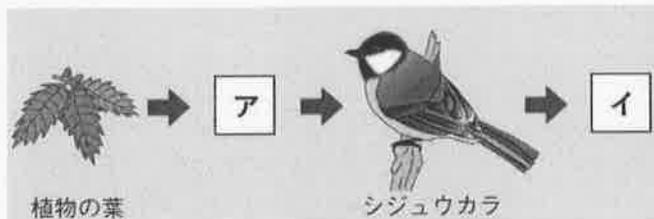
- 1 右の図のように、生物は、「食べる」「食べられる」の関係でつながっている。このような関係を ①) といいます。



- 2 植物は養分をつくりだし、
 ②) 動物はその植物を食べ、
 ③) 動物は他の動物を食べ、養分をとり入れている。

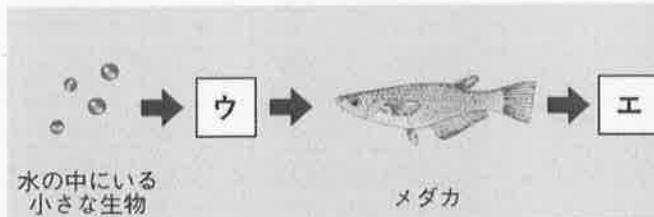
2 食物れんさについて、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 1 右の図の **ア** に当てはまるのは、
 [④ チョウの幼虫・オオタカ]
 です。



- 2 右の図の **イ** に当てはまるのは、
 [⑤ チョウの幼虫・オオタカ]
 です。

- 3 右の図の **ウ** に当てはまるのは、
 [⑥ ミジンコ・ナマズ] です。



- 4 右の図の **エ** に当てはまるのは、
 [⑦ ミジンコ・ナマズ] です。

3 生物の水との関わりについて、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 1 人(成人)の体にふくまれている水の割合は、約 [⑧ 6・60] %です。
 2 植物は、[⑨ 根・葉] から水を吸い上げている。
 3 生物が生きていくために、水は [⑩ 無くてはならない・無くてよい] 。

すべての生物は、食物を通してつながっているね。

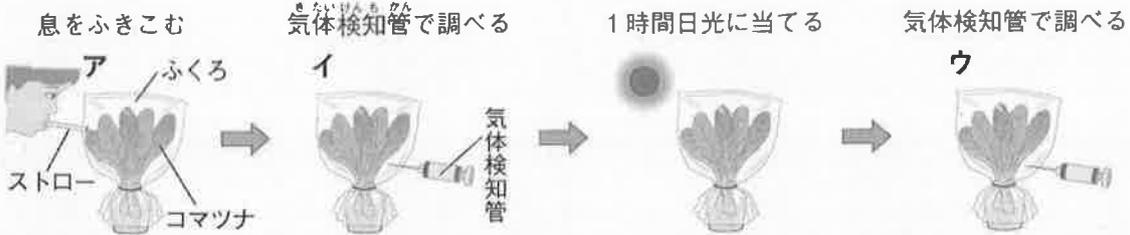


.....キリトリ.....

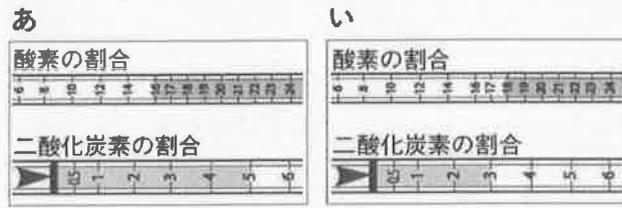
- 〈解答〉 1 ① 食物れんさ ② 植物を食べる (草食の) ③ 動物を食べる (肉食の)
 2 ④ チョウの幼虫 ⑤ オオタカ ⑥ ミジンコ ⑦ ナマズ
 3 ⑧ 60 ⑨ 根 ⑩ 無くてはならない

No. 8 生物と環境 (2)	名前	組 番	/10問
-----------------	----	-----	------

1 植物と空気との関係について、下の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。



- 上の図の**ア**で、ふくろの中にストローで息をふきこむと、ふくろの中の空気は、まわりの空気と比べて [① 二酸化炭素・酸素] の割合が多くなる。
- 上の図の**イ**の気体検知管の結果は、右の図の [② あ・い] です。
- 上の図の**ウ**の気体検知管の結果は、右の図の [③ あ・い] です。
- 植物は、日光が当たると空気中の [④ 二酸化炭素・酸素] を取り入れ、 [⑤ 二酸化炭素・酸素] を出している。



2 植物のはたらきについて、次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

植物も、動物と同じように絶えず (⑥) によって酸素を取り入れ、二酸化炭素を出している。しかし、植物は日光が当たっているとき、⑥で使う酸素の量よりもつくり出す酸素の量のほうがはるかに (⑦) 。

3 他の地域から持ちこまれた生物について、次の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

- 人間によって他の地域から持ちこまれ、野生化した生物を [⑧ 在来種・外来種] といいます。
- その地域にもともといる生物を [⑨ 在来種・外来種] といいます。
- 人間によって他の地域から持ちこまれた生物が、その地域にもともといる生物を食べたり、すむ場所をうばったりして、その地域にもともといる生物が [⑩ 減少・増加] することがあるため、現在世界中で問題になっている。

動物と植物は、空気を通してたがいに関わり合って生きているね。



.....キリトリ.....

- 〈解答〉
- ① 二酸化炭素 ② あ ③ い ④ 二酸化炭素 ⑤ 酸素
 - ⑥ 呼吸 ⑦ 多い
 - ⑧ 外来種 ⑨ 在来種 ⑩ 減少

No. 9 てこの規則性 (1)	名前	組 番	/10問
------------------	----	-----	------

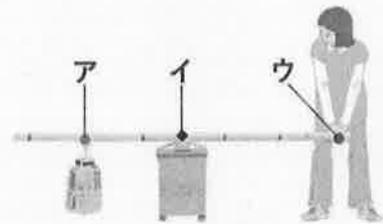
1 棒を使って重いものを持ち上げることについて、次の()に当てはまる言葉を書きましょう。

1 右の図のように、棒の1点を支えにして、棒の一部に力を加え、ものを動かせるようにした道具を (1) といいます。

2 右の図の**ア**は、力がはたらいているところで、 (2) といいます。

3 右の図の**イ**は、棒を支えているところで、 (3) といいます。

4 右の図の**ウ**は、棒に力を加えているところで、 (4) といいます。



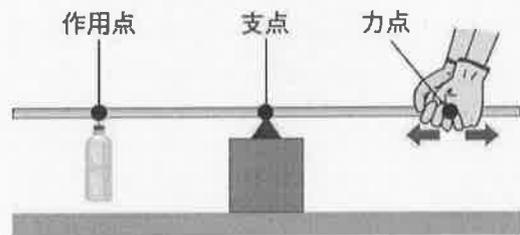
2 てこを使った実験について、下の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

右の図のように、てこの支点から力点までのきよりを変え、力点の手ごたえを調べました。

1 この実験で、

- ・支点の位置は [5 動かす ・ 動かさない] 。
- ・作用点の位置は [6 動かす ・ 動かさない] 。

2 支点から力点までのきよりを [7 短く ・ 長く] するほど、小さい力でもものを持ち上げることができる。



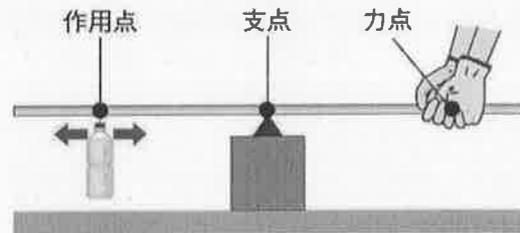
3 てこを使った実験について、下の [] のうち正しいものを○で囲みましょう。

右の図のように、てこの支点から作用点までのきよりを変え、力点の手ごたえを調べました。

1 この実験で、

- ・支点の位置は [8 動かす ・ 動かさない] 。
- ・力点の位置は [9 動かす ・ 動かさない] 。

2 支点から作用点までのきよりを [10 短く ・ 長く] するほど、小さい力でもものを持ち上げることができる。



てこを使って、小さい力でもものを持ち上げてみよう。



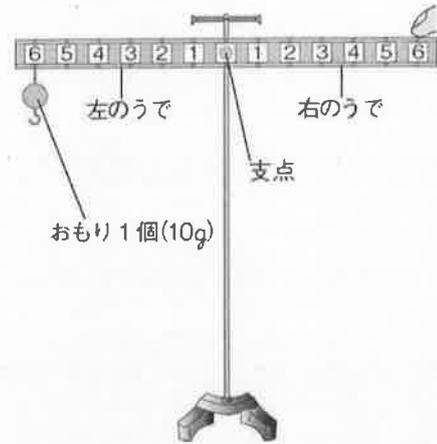
.....キリトリ.....

- (解答) 1 ① てこ ② 作用点 ③ 支点 ④ 力点
 2 ⑤ 動かさない ⑥ 動かさない ⑦ 長く
 3 ⑧ 動かさない ⑨ 動かさない ⑩ 短く

No. 10 てこの規則性 (2)	名前	組 番	/10 問
-------------------	----	-----	-------

1 実験用てこを使った実験について、下の () に当てはまる言葉や数を書きましょう。

右の図の実験用てこで、左のうでの^{してん}支点からのきより6の位置に、おもり1個をつるしました。



1 実験用てこが水平につり合うのは、

- ・右のうでの支点からのきより1の位置に、おもり
(1) () 個をつるしたときです。
- ・右のうでの支点からのきより2の位置に、おもり
(2) () 個をつるしたときです。
- ・右のうでの支点からのきより3の位置に、おもり
(3) () 個をつるしたときです。

2 てこが水平につり合うとき、次のきまり(式)が成り立ちます。

左のうでをかたむけるはたらき	右のうでをかたむけるはたらき
おもりの (4) × 支点からの (5)	おもりの④ × 支点からの⑤

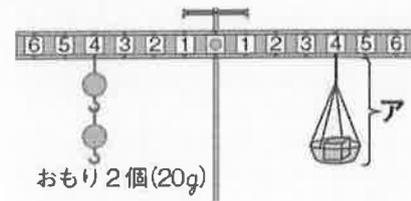
2 てこを利用した道具について、次の () からそれぞれ選んで書きましょう。

〈 ^{あな}ピンセット ・ 穴開けパンチ ・ 洋はさみ 〉

- 1 支点が、^{りきてん}力点と^{きょうてん}作用点の間にあるてこを利用した道具。 (6) ()
- 2 作用点が、支点と力点の間にあるてこを利用した道具。 (7) ()
- 3 力点が、支点と作用点の間にあるてこを利用した道具。 (8) ()

3 てこを利用した道具について、次の () に当てはまる言葉や数を書きましょう。

1 右の図のように、てこが水平につり合うことを利用すると、ものの重さを比べたり、量ったりすることができます。このような道具を (9) () といいます。



2 右の図の^アの重さは (10) () gです。

ものをのせる皿がうでの上についているてんびんが、上皿てんびんだよ。

.....キリトリ.....

- (解答) 1 ① 6 ② 3 ③ 2 ④ 重さ ⑤ きより
 2 ⑥ 洋はさみ ⑦ 穴開けパンチ ⑧ ピンセット
 3 ⑨ てんびん ⑩ 20